

[成果情報名]ビワ「なつたより」の果実重と結果枝の種類、開花時期および果実数との関係

[要約]ビワ「なつたより」の果実重は、中心枝および副梢に着果させた果実、11月中旬（開花始期）～12月中旬（開花盛期）に開花した果実、果房当たり果実数2～3個で大きい。

[キーワード]開花時期、果実数、結果枝、なつたより、ビワ

[担当]鹿児島県農業開発総合センター・果樹部・栽培研究室

[代表連絡先]電話 0994-32-0179

[分類]研究成果情報

[背景・ねらい]

ビワ「なつたより」は既存品種に比べて、果実が大きく、果肉が柔らかく、食味が優れており、3L以上の大果生産が期待されている。そこで、果実重と結果枝の種類、開花時期および果房当たり果実数との関係を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. 中心枝および副梢に着果させた果実の重量は、果痕枝に着果させた果実よりも大きい（表1）。3L以上果実割合は中心枝で高く、果痕枝では低い。果痕枝では果房当たり葉数が中心枝より少ない。果房当たり果実数2～3個では同4個より果実重は大きい。
2. 11月中旬（開花始期）～12月中旬（開花盛期）に開花した果実の重量は、1月中旬（開花終期）に開花した果実より大きい（表2）。3L以上果実割合は11月中旬～1月上旬に開花した果実では、1月中旬に開花した果実より高い。開花時期が遅くなるにしたがい、果形指数は大きくなり、果形は短卵形から球形になる。果房当たり果実数2個では、同3～4個より果実重が大きく、3L以上果実割合が高い。

[成果の活用面・留意点]

1. 試験は、鹿児島県垂水市で実施した。開花時期や成熟時期が異なる地域や、寒害を受けやすい地域では、開花時期と果実重との関係が異なることが想定される。
2. 結果枝には中心枝および副梢を用いることが望ましいが、果痕枝を用いる場合には葉数の多いものを用いる。開花時期が遅い果実では、摘果時に果実が小さいので、外観から種子数が多いと見込まれる大きめな果実を残すように摘果する。

[具体的データ]

表1 ビワ「なつたより」の果実重等に及ぼす結果枝の種類および果房当たり果実数の影響

		果実重 (g)	種子重 (g)	3L以上果実 割合(%)	果房当たり 葉数(枚)
結果枝の種類	中心枝	67.0 b	11.6 a	51.7 c	19.3 b
	副梢	65.3 b	11.2 a	35.5 b	15.8 b
	果痕枝	57.9 a	9.7 a	15.6 a	12.6 a
果房当たり果実数(個)	2	66.4 b	11.5 a	39.6 a	15.2 a
	3	64.9 b	10.9 a	36.1 a	16.5 a
	4	58.9 a	10.2 a	27.1 a	16.0 a

注) 1. 結果枝の種類3水準×果房当たり果実数3水準、二元配置

2. 試験には6年生樹3本を用い、2013年12月22日に開花した花を果房当たり5～8個残して摘蕾し、2014年3月3日に果房当たり果実数2～4個に摘果し、袋掛け(クロT37、江見製袋)した。

3. 2014年5月8日～23日に、果皮色が収穫適期に達した果実を果房毎収穫し、調査した。

4. 副梢および果痕枝は、2本程度に芽かきした。

5. 3L以上果実割合: 果実重66g以上の果実割合

6. Tukeyの多重検定により、異符号間に5%水準で有意差あり

7. 3L以上果実割合の統計処理にはアークサイン変換値を用いた。

表2 ビワ「なつたより」の果実重等に及ぼす開花時期および果房当たり果実数の影響

		果実重 (g)	種子重 (g)	果形指数	3L以上果実 割合(%)	果房当たり 葉数(枚)
開花時期	11月18日	64.0 bc	11.0 bc	84.6 a	46.7 b	12.6 a
	12月2日	65.9 c	12.2 cd	93.4 b	47.0 b	14.4 a
	12月17日	64.0 bc	12.0 cd	96.2 c	41.4 b	16.7 a
	1月1日	60.3 bc	11.1 bc	99.4 d	32.4 b	15.6 a
	1月13日	48.2 a	9.5 a	104.8 e	1.4 a	14.7 a
果房当たり果実数(個)	2	63.7 bc	11.7 bc	94.9 a	42.9 b	14.7 a
	3	58.6 a	10.8 a	96.1 a	28.7 a	14.3 a
	4	59.1 ab	11.0 ab	96.0 a	29.7 a	15.4 a

注) 1. 開花時期5水準×果房当たり果実数3水準、二元配置

2. 試験には7年生樹3本を用い、2014年11月18日～2015年1月13日に開花した花を果房当たり5～8個残して摘蕾し、横径が10mm程度になった時期に、果房当たり果実数が2～4個になるように摘果し、袋掛け(クロT37、江見製袋)した。

3. 2015年4月27日～5月18日に果実を果房毎収穫し、調査した。

4. 果形指数: 横径÷縦径×100

(鹿児島県農業開発総合センター)

[その他]

課題名: 地域要請課題 (ビワの品種選定)

予算区分: 県単

研究期間: 2013～2014年度

研究担当者: 内野浩二

発表論文等: 内野(2016)「ビワ「なつたより」の大果生産技術と収穫期判断の基準」平成28年度九州沖縄農業試験研究推進会議果樹推進部会研究会資料